令和３年度　土地活用ハンズオン支援事業

# 岩手県山田町「地元商工会等と連携した魅力ある中心市街地像の検討」

## 目的・背景

**国道４５号沿道の未利用地について、中心市街地の活性化につながる活用アイデア「アウトドアベース」を軸とした社会実験（「まちなかキャンプ」）を実施し、まちなかの骨格となる土地利用等を検討**

- 国道45号沿道の造成地（産業用地）の土地活用が進んでいない。
- 山田ＩＣ付近に新・道の駅が開設予定であり、町のゲートウェイ機能として活かすため、まちなかに交流人口を呼び込む仕掛けが必要。町内の民間から、まちなかの未利用地を活用した「アウトドアベース」のアイデアが出されており、官民で検討を推進。

位置図

航空写真

対象地周辺

## 取組とその効果

**1　官民により「まちなか活性化検討会」を組成し、未利用地の有効活用に向けた具体的な取組み検討を推進。**

**2　官民での具体的な取組みの実施をもとに、次年度以降の検討で求められる視点を取りまとめ、官民連携の取組みを継続。**

取組の様子

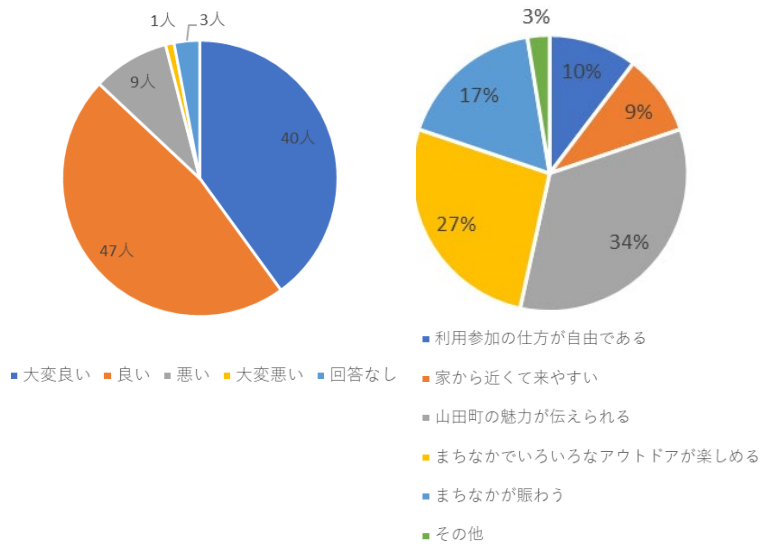
アンケート実施の様子

関係者協議の様子

## 取組経過

| | |
|---|---|
| ６～　９月 | 「アウトドアベース」としての土地活用の試行として、１０月の社会実験（まちなかキャンプ）の検討を実施したが、新型コロナウィルスの感染拡大のため、社会実験の実施は　見送り |
| １０～１１月 | 山田町役場や、町内の商工会、民間事業者、専門家が参加した「まちなか活性化検討会」を立ち上げ、国道４５号沿の未利用地を活用したまちなかの活性化について、２度の意見交換を実施 |
| １２～ ３月 | 山田町役場と商工会青年部で、アウトドアベースとしての活用等、国道４５号沿の未利用地の活用方法をテーマとしたアンケートを実施し、その結果を踏まえて今年度の活動や次年度以降の検討で求められる視点を取りまとめ |

取組成果イメージ




アンケート結果
（左「アウトドアベース」に対する印象、右「良い」「大変良い」を選んだ理由）

## 今後の方向性

**検討会のとりまとめを踏まえ、役場と民間が両輪となってまちなか活性化のための国道45号沿道の未利用地の活用の取組を推進**